

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第4学年

【議題名】 学級活動(1)ア 「学級の生き物をこのまま飼いつけていいのだろうか」(3時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
学級の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けることができる。	学級の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。

【主な学習活動と留意点】

前議題からのつながり：学級の中核的な活動として生き物を飼ってきたが、死んでしまったものがある。このまま飼いつけるかどうか、冬を迎える前にみんなで考え合いたい。

働かせる見方・考え方：集団としての問題を捉え、よりよい集団生活の構築に向けた実践に結びつけること。

段階	学習活動(時間)	留意点
事前	議題の選定(計画委員会) ・学級で話し合うべき問題かどうかを考え、議題を選定する。	<p style="text-align: center;"><b>「話し合いの充実」を図る事前の指導</b></p> <p>☞議題を決定し、提案理由やめあて、学級会の進め方の計画を立てる。</p>
考えの整理	<p style="text-align: center;">議題：「学級の生き物をこのまま飼いつけていいのだろうか」</p> 解決方法等の話し合い(1) ・自分の考えを整理する。	<p style="text-align: center;"><b>議題について、自分の考えを整理する場面</b></p> <p>☞「生き物をこのまま飼いつけていいのだろうか」について、自分の考えを整理する時間を設ける。(学習カード記入)</p>
出し合う 比べ合う	解決方法等の話し合い(1) ・自分の考えを発表し合う。 解決の方法等の話し合い ・質疑応答を通して意見の共通点や相違点を確認する。 ・賛成意見や反対意見などを述べながら話し合う。	<p style="text-align: center;"><b>よりよい解決方法を見つけるために話し合う場面</b></p> <p>☞一人一人の思いや願いを大切にしながら発表し合う。 ☞意見を短冊に書き、操作性のある構造的な板書にする。 ☞提案理由やめあてに沿って話し合いが進められるように、指導助言を行う。 ☞司会グループだけでなく、全員に対して助言し、学級全体の話し合いの力が高まるようにする。 ☞短冊を操作するなど、分類・整理して比べやすくする。 ☞いろいろな意見の違いを認め、折り合いをつけるなどして、みんなで決めるようにする。</p>
決める	解決方法の決定 ・みんなの考えをまとめ、合意形成を図る。	
事後	決めたことの実践(1)  振り返り(短学活等で)	<p style="text-align: center;"><b>実践 → 振り返り</b></p> <p>☞短学活等で、実践してよかった点、友だちのよい姿、感動等を発表し合う。その様子を学級だより等で紹介する。</p>

次議題へのつながり：飼いつけると決めた生き物が元気に冬越しできる環境をみんなで考えていこう。